

発行：東京都港区虎ノ門2-10-1
虎ノ門ツインビルディング西棟4階
富士通虎ノ門オフィス内
Mail: icscp_office@nicscp.jp
2018年7月31日(火)No. 064

ICS CP 産応協ニュース [第64号]

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会(産応協)
Industry Committee for Super-Computing Promotion

第29回コミュニティ委員会開催

第29回コミュニティ委員会(旧名:実行委員会)が、7月13日(金)にダイキン工業株式会社東京事業所の会議室をお借りして開催されました。今回より三菱ケミカルの竹内さんが委員長に就任、運営委員会(5/18開催)、企画委員会(6/25開催)の報告がされた他、産応協セミナー、産応協スクール、ものづくりWS等のWG活動の状況について報告が行われました。また、今後のサステナブルなコミュニティ活動の在り方について委員長より提案があり、次回委員会(10月開催予定)において議論することになりました。

[第29回コミュニティ委員会アジェンダ]

- ・ 前回議事録確認
- ・ 運営委員会(5/18開催)報告
- ・ 企画委員会(6/25開催)報告
- ・ 各WG活動の状況と計画(進捗, 課題, WG館連携の状況)
 - 産応協セミナーWG
 - 産応協スクールWG
 - ものづくりワークショップWG
 - 対話交流会WG

第10回HPCものづくりワークショップ開催

第10回HPCものづくりWSが、7月6日(金)に東京大学生産技術研究所のセミナー室をお借りして開催されました。参加者数は、アカデミア、産業界合せて25名で、以下のプログラムでそれぞれの立場から発表、意見交換が行われました。またワークショップ終了後は、アカデミアの先生方にもご参加頂き、懇親会が開催され、その場においても自由な立場で意見交換が行われ、大変実りの多い会となったと思われまます。

《プログラム》

- ・ 今後の活動方針について (産応協)
- ・ CFDベンチマーク活動結果報告 (産応協)
- ・ 国プロソフトの最新状況について (東大生産技術研究所吉川教授)
- ・ FEMベンチマーク活動の進め方と課題について (産応協, 東京大学奥田教授)
- ・ オープンCAE活動の紹介 (東洋大学藤岡教授)

産応協スクール2018 夏の開催について

HPC産業利用スクールは、取り組むテーマに幅を持たせるため、今年度より「産応協スクール」と改称し、その第1回目が、7月19日(木)、20日(金)の両日、千葉県勝浦市にあるリフレ

ツツ勝浦において1泊2日で開催されました。今回は、「粒子法による流体解析～入門から応用～」をテーマに取り上げ、東京大学の越塚誠一先生が開発された、MSP法についての講義と演習が行われました。

大変暑い中ではありましたが、様々な企業から15名の方々が参加され、業種・業態の枠組みを越えて、熱心に演習、グループ討議そして交流会に取組まれ、今回も大変中身の濃いスクールになったと思われまます。

《プログラム》

- 【講演】粒子法による流体解析
公益財団法人 鉄道総合技術研究所 室谷 浩平氏
- 【演習】
公益財団法人 鉄道総合技術研究所 室谷 浩平氏
 - 粒子法解析コードの使い方とParaViewによる可視化方法
 - 粒子法解析コードを使った応用実習
- 【グループワーク】



第41回産応協セミナー開催

今年度第1回目（通算41回目）となる産応協セミナーは、大変ホットなテーマである「量子コンピュータ」を取り上げたため、大変多くの反響を頂きました。そのため、講師、産応協委員を加えて85名という今までになく多くの方々にご参加頂き、7月30日（月）の午後にリファレンス新有楽町ビルにおいて開催いたしました。

ご参加のお問い合わせを頂きながら、申込締め切り期限前に予定募集人数を越えてしまったため、多数の方々のご期待に副うことができず、大変申し訳ございませんでした。この場を借りてご参加頂いた方々へのお礼と共に、ご期待に副えなかった方々には改めてお詫び申し上げます。

- 開催日時：2018年7月30日（月）13：00～17：20
- 開催場所：リファレンス新有楽町ビル（東京都千代田区有楽町）
- テーマ：「量子コンピュータ」
- 募集定員：60名
- プログラム
 - 13：00～13：05 開催挨拶
 - 13：05～13：55 量子コンピュータの最新動向
株式会社野村総合研究所上級研究員 藤吉 栄二氏

- 13:55~14:45 量子アニーリングが拓く新時代
東北大学情報科学研究科准教授 大関 真之氏
- 14:45~14:55 休憩
- 14:55~15:45 ゲート型量子コンピュータとIBM Q Network
慶応義塾大学理工学部准教授 山本 直樹氏
- 15:45~16:25 量子アニーリングマシンによるビジネスへの活用事例
株式会社リカルトコミュニケーションズ 大石 壮吾氏
- 16:25~16:35 休憩
- 16:35~17:15 量子コンピュータで起こすIoT革命!!
株式会社デンソー 先端技術研究所 寺部 雅能氏
- 17:15~17:20 閉会挨拶

第2回HPCIに関わる情報交換会開催

本年4月に開催した、HPCIシステム構成機関との意見交換会の第2回目の会が、7月23日(月)に、事務局をお願いしている高度情報科学技術研究機構(RIST)の東京事務所で開催されました。当日は、産応協側より13名、HPCIシステム構成機関より21名、オブザーバとして文部科学省より2名、RISTより7名が参加する大きな打合せとなりました。

アジェンダは、以下のとおりです。

《アジェンダ》

- ・ テーマ：HPCIのセキュリティと大規模データハンドリング
 - はじめに～これまでの振り返り～ (RIST)
 - HPCサーバセキュリティ要件チェックリスト (産応協)
 - データの可視化について
 - リモート可視化に対するニーズ (産応協)
 - 「京」の可視化環境の現状と将来計画について (理化学研究所)
 - HPCI利用者向け可視化サーバ環境調査結果 (RIST)
 - 意見交換
 - データ転送速度測定結果 (RIST)
 - 自由意見交換

4月に開催された第1回目の情報交換会における意見の結果を受け、産応協側でHPCサーバセキュリティ要件チェックリストをまとめ、今回提示いたしました。最初に、これはユーザの立場として、チェックリストに記載されたセキュリティ要件が全て満たされていないければ、HPCIの利用ができない、或はここがクリアになっていないとだめというのではなく、現在ユーザ側から見て殆ど見えていない各情報基盤センターが行っているセキュリティ対策を見える化し、HPCI利用時の社内コンセンサスを得るためのツールとして利用したい、という趣旨の説明が産応協側より行いました。

提示された原案に対し、HPCIシステム構成機関の各先生からは、チェック項目の設問をより回答しやすいように具体化する等のご意見を頂きました。今後は頂いたご意見を基に再度産応協側でチェックリストの見直しを行う予定です。

データの可視化については、産応協側より具体的なニーズが示され、一方でRISTが行ったサーバ環境調査の結果が明らかになり、具体的な検討については、今後引き続き行われていくものと思われまます。

ポスト「京」の着実な推進および移行期のH P C I 産業利用について

5月18日（金）に開催された運営委員会において承認された「ポスト「京」の着実な推進および移行期のH P C I 産業利用について（提言）」を7月5日（木）付けで公開いたしました。詳しくは、本ホームページの「産応協からの情報・提言」をご確認ください。

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】
住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階
電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp
担当：中川，滝口

以 上